

令和7年度 第2回 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

発達・子育ち支援専門部会

日時：令和7年12月17日（水）

午後2時30分から

場所：旧木幡幼稚園 遊戯室

＜次第＞

1 開会

2 検討

（1）専門職による園訪問支援の手順の明確化・周知と、それを踏まえた進め方等について

（2）移行支援シートの活用方法等について

3 今後の発達・子育ち支援に関する課題等について

4 閉会

＜資料＞

	ページ
① 第1回発達・子育ち支援専門部会 主な意見等	… 1
② 専門職による園訪問支援事業の現在の流れ	… 4
③ 専門職による園訪問支援事業 周知用チラシ等	… 5
④ 専門職による園訪問支援事業 実施状況一覧	… 7
⑤ 移行支援シート作成マニュアル案	… 10

(前回の振り返り)

令和7年度第1回 発達・子育ち支援専門部会 主な意見等

<第1回の検討事項>

- (1) 専門職による園訪問支援の実施状況を踏まえた課題の抽出について
- (2) 移行支援シートの記入方法について

<第1回の検討内容> (部会開催: R7.7.23 出された意見の抜粋とまとめ)

(1) 専門職による園訪問支援の実施状況を踏まえた課題の抽出について

専門職による園訪問支援の実施状況について、施設が希望した支援の内容や園訪問の結果等を事務局から報告した。

<部会員から出た意見・課題等>

- ・センター職員による定期訪問の際に、専門職による園訪問につながるようなイメージが持てなかつた。
- ・「先生の困りごとが今回これだったから、この専門職が訪問した」というような、具体的な部分が分かりにくい。
- ・「今、タイムリーに相談したい」というケースがある時に、相談に数か月待たされたりすることはないか。
- ・今まで困ったことがある場合は、保育支援課の障害児保育指導員に相談していたが、これから相談の窓口はセンターになるのか。
- ・園訪問の申込みの方法や手順を説明して、入り口がはっきり分かるようにした方が良い。
- ・保育の各場面によっての困り、一過性のものから頻繁に起こるものまで、どのように対応すれば子どもにとって良いかが分からぬ時に、気軽に相談できる所がセンターであれば良い。
- ・子どもの様子を定期的に訪問して見てもらって、どのような支援が必要かを教えてもらえるようなイメージを持っている。

<改善策等>

- ・専門職による園訪問事業がどのような事業なのか、また、就学前施設が申し込む場合と、センター職員の訪問から専門職による園訪問につなげる場合があるなど、手順も含めて広く周知する必要がある。
- ・「このケースはこの窓口に相談しなければいけない」「このケースはどこに連絡すれば良いか分からぬ」というように迷うと大変。まずはセンターに相談して、ケースの内容によって保育支援課や保健推進課等の相談先に案内するような流れが良いのではないか。

＜まとめ＞

専門職による園訪問の流れや支援内容等の全体像が分かりにくい



専門職の定期的な訪問が可能か検討を行うとともに、相談窓口や申込方法・園訪問支援の内容等の手順の明確化・周知を行う。

（2）移行支援シートの記入方法について

昨年度に統一した移行支援シートについて、事務局による作成マニュアルを見ながら、記入方法等について意見交換した。

＜部会員意見等＞

- ・移行支援シートの対象児となるかどうかの線引きは、保護者とのやり取り等もあるので、この専門部会ではなく各就学前施設で判断することになる。
- ・移行支援シートを作成することが難しい場合や、移行支援シートの話をして保護者との関係が悪くなるようであれば、無理に作成するのではなく、口頭で小学校へ伝えるなどの別の方法でもよい。
- ・小学校から中学校へのつながりも意識して統一様式を活用していく方が分かりやすい。
- ・「入学当初予想される姿」は、小学校からすると大変参考になり助かっている。
- ・子どもはその時々で色々な面を見せるため、要録や移行支援シートと異なる姿があっても問題ない。
- ・引き継いで終わりではなく、小学校と就学前施設との間で、子どもの様子などを尋ねられる関係ができると良い。
- ・この移行支援シートは、保護者の同意を得て一緒に作り上げていくということもあり、まずは「できるところから始めていく」としてはどうか。
- ・子どもたちのより良い就学のためにも、保護者への周知は必要である。

＜まとめ＞

- ・移行支援シートの記入方法や、移行支援シートが必要な子どもがシートを活用できるように保護者への説明方法等について、引き続き検討していく。



移行支援シート活用のための研修の実施
(R7.8.1 研修実施。各施設に音声入りの研修動画提供)

○令和7年度 発達・子育ち支援専門部会への依頼内容

R7.5.19 第1回推進協議会において専門部会へ依頼することとした内容

①専門職による園訪問について

- ・定期訪問により把握した生きづらさ等の困りごとを抱える子どもたち一人ひとりの育ちを支援していくにあたっての課題等と、その解決に向けて先生たちを支援するための専門職派遣の対応状況等について共有を図り、園訪問支援の進め方について意見交換等を行う。
- ・全ての子どもがより豊かに園生活が送れるよう、園の先生方が、発達に課題のある子どもやその保護者への対応力をさらに向上できる手法等について常に検討していく。

②移行支援シートの作成マニュアルの検討について

- ・移行支援シートを活用していくため、今年度に研修を予定している。
- ・書き方のポイントを示した記入例等の作成を考えており、それについて意見交換等を行う。また、課題が生じた場合には改善に向けた検討を行う。

○第2回発達・子育ち支援専門部会での検討事項

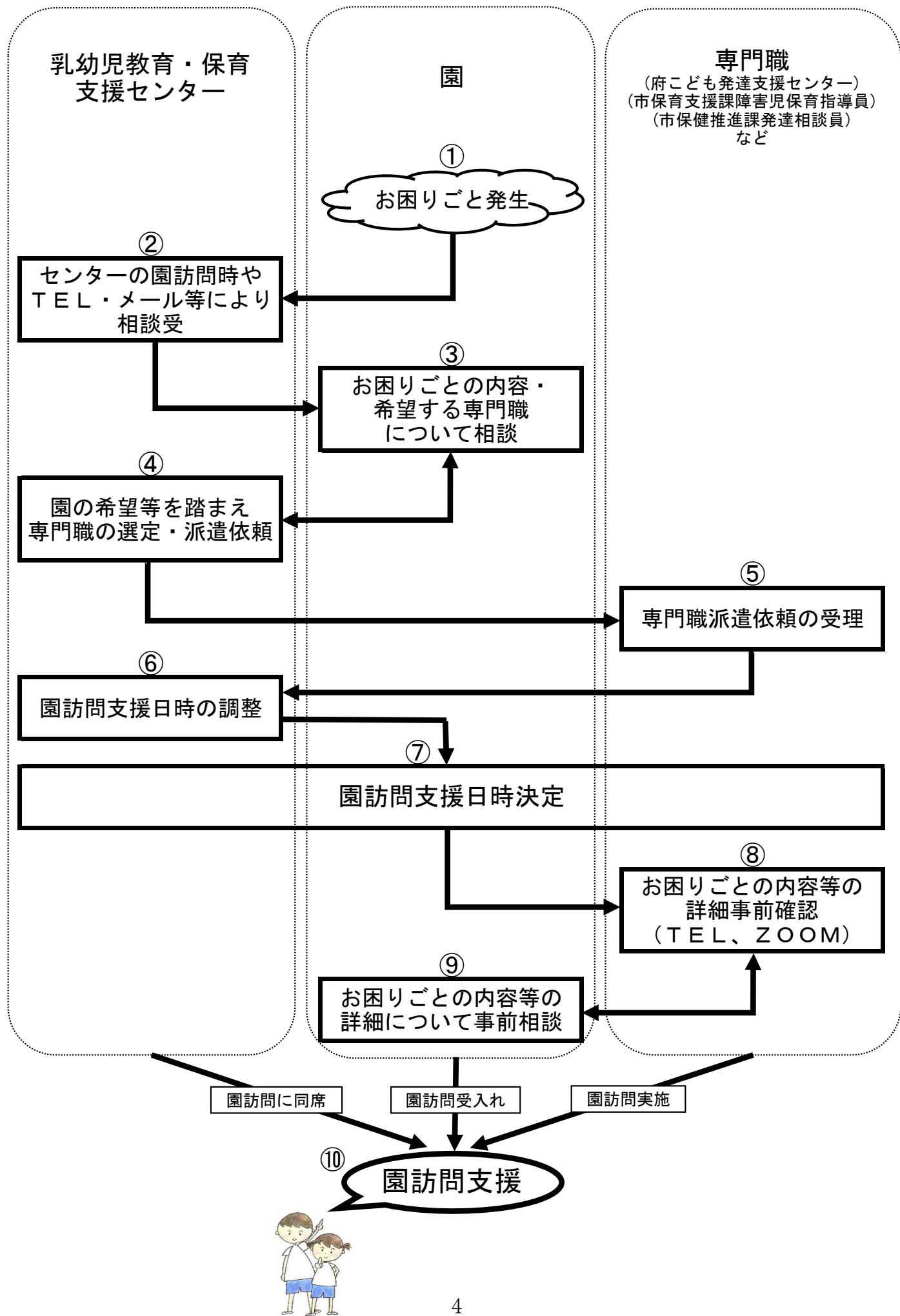
①専門職による園訪問について

- ・専門職による園訪問に向けた、相談窓口や申込方法・園訪問支援の内容等の手順の明確化・周知を行う。それを踏まえた園訪問支援の進め方についての助言。

②移行支援シートの作成マニュアルの検討について

- ・第1回発達・子育ち支援専門部会で出た意見等を踏まえた、移行支援シートの記入方法や、移行支援シートが必要な子どもがシートを活用できるように保護者への説明方法等への助言。

専門職による園訪問支援事業の現在の流れ



宇治市乳幼児教育・保育支援センター 園訪問事業のご案内

○実施内容

宇治市乳幼児教育・保育支援センター(以下センター)では、子どもの「育ち」と「学び」に関わる先生たちをサポートするため、市内の幼稚園、保育所、認定こども園等に専門職を派遣し、訪問相談を行っています。

在園児で発達や行動の気になるお子さんについて、お子さん一人ひとりがよりスマーズに園生活を送れるよう、対応の工夫について先生方と一緒に考えます。

* 園訪問では、お子さんの発達障害の有無を判定することはできません。

* 保育所・認定こども園における加配等についてのご相談は、**保育支援課**にお問い合わせください。

○訪問相談員

お子さんの課題やご相談の内容に合わせて、センターが派遣の手配を行い専門職が園を訪問します。

* 専門職

府こども発達支援センターの理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

市保育支援課の障害児保育指導員、市センターの心理発達相談員 など

○申し込みの手順

就学前施設	センター
①申請(電話又は別紙申込票)	<ul style="list-style-type: none">相談内容確認、派遣職員の決定日程調整の連絡
②訪問日の決定 当日の保育内容・運営体制の調整	<ul style="list-style-type: none">当日の時間確認、派遣職員の氏名等の連絡* こども発達支援センター職員が担当の場合はこども発達支援センターから直接連絡あり
③園訪問 実施	

○当日の流れ(例)

訪問	朝 9時30分を目安に訪問
打合せ	<ul style="list-style-type: none">相談内容・観察ポイントの確認当日のクラス活動予定と内容確認
観察	必要に応じてお子さんに直接かかわらせていただく場合があります。
カンファレンス	事前情報や観察、先生方から得た情報をもとに、対応方法等を話します。

訪問時間は打ち合わせ・観察・カンファレンスを含めて原則として、9時30分～12時頃を予定しています。対象のこどもさんの人数や施設の状況などにより、訪問時間は相談させていただきます。



(問い合わせ) 宇治市乳幼児教育・保育支援センター
〒611-0011宇治市五ヶ庄梅林官有地
[TEL 0774-20-8990](tel:0774-20-8990)
FAX 0774-39-5573
Mail nyuyojicenter@city.uji.Kyoto.jp

(様式 1)

園訪問申込票

_____ 年 _____ 月 _____ 日

宇治市乳幼児教育・保育支援センター宛

園名

園長名

電話番号

園訪問を申し込みます

- 初めて 過去に利用あり
*どちらかに✓をつけてください

○相談内容

[]

○対象のお子さんがいれば下記にご記入ください。

対象児 No.	クラス名・ 申込時年齢	性別	相談内容
1	クラス 歳 か月	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
2	クラス 歳 か月	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
3	クラス 歳 か月	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	

行事等でご都合が悪い日がございましたらご記入ください。

[]

素案

宇治市

移行支援シート作成マニュアル

<保育所(園)・幼稚園・こども園から
小学校へつなぐ>



令和 7 年 7 月作成

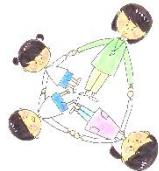
移行支援シートとは

支援を要する幼児に対して保育所(園)・幼稚園・こども園で行われていた支援や配慮等に関する情報を、就学先の学校に提供し必要な支援や配慮を引き継いでいくために、保護者と連携して作成するものです。

対象 … 支援を要する子ども



目的 … 次のステージへの円滑な移行



作成者 … 担任、特別支援担当、保護者

作成のポイント

園(所)での支援をつないでいくために、保護者と連携して作成します

見やすく

作りやすく

保護者と共に

次のステージにつなげる際に、園・所での姿や生育歴、入学当初に予想される姿や手立て等を含めて「移行支援シート」として作成し、入学後も充実した学校生活が送れるよう、進学先に引き継ぎを行うことを保護者に伝え、本人の良さの理解や就学先への支援の継続等の必要性を丁寧に説明し理解してもらうように努めましょう。

<作成の仕方の一例>

- ① 保護者と、移行支援シートを作成することについて提案・合意形成します。
保護者が希望(同意)されない場合、移行支援シートを作成することはできません。
- ② 個人懇談会の場を設け、本児の様子について保護者と情報交換・共有しながらシートの項目を埋めていきます。
- ③ 保護者と話し合った内容を整え、出来上がったシートを保護者に見せ、確認します。
修正がある場合は修正したのち、保護者に引継ぎに関する了承の署名をもらいます。

小学校への引継ぎ方法

年度末や年度当初、保幼小連絡会時に、園と小学校それぞれの担当者が移行支援シートと一緒に見ながら伝えます。

移行支援シートの引継ぎをしたいことを、あらかじめ連絡しておくとスムーズです。

<引継ぎまでの仕方の一例>

① 保護者に内容を確認し、署名をもらう。(3学期または年度末)

その際に、写しを2部作成し、1部は園(所)で保管、1部は就学先に渡すことを説明しておく。

② 写しを2部作成し、原本証明、公印を押す。

- 1部は園で6年間保管
- 1部は就学先と引継ぎの日程調整後、写しを基に話をして渡す。
(受領書を用意し、受領者の署名をもらう)
- 原本は保護者に渡す。(作成データは卒園後に消去する)

この写は原本と相違ないことを証明します

令和 年 月 日 ○○園(所)長 △△△公印



小学校の先生より

- 入学前にも入学後にも活用した。
- 「入学当初予想される姿」の項目をもとに、どうしていくか保護者と考えることができた。
- 給食について不安に思っていることを知ることができた。
- 療育・医療等、様々な機関との連携で参考にすることことができた。
- 保護者との相談、児童への支援や指導に参考にした。

保護者より

- 視覚支援を取り入れてくださるなど本人がスムーズに動けるように配慮していただいている。
- 心配していた給食ですが、苦手なものは量を減らすなど配慮していただいて、給食への不安が和らいだのでよかったです。
- 学校や放課後デイサービスの書類記入の際に参考にしました。
- 移行支援シートがあることで、伝え忘れそうになつても、「こう書いてあるが」と質問してもらえて、「そうそう」と漏れがないよう話し合いが出来ました。

記入の仕方

取扱注意 令和 年度		園(所)移行支援シート				年 月 日 作成者()		
ふりがな	氏名	性別	学年	担任名	支援(指導形態)	教育相談等		
			0歳					
			1歳					
生年月日		年 月 日生	2歳		①			
			3歳			②		
			4歳					
			5歳					
						入学当初予想される姿		
		③			④			
本人の思い(楽しみ・不安に思っていること)		保護者の思い(願い・不安に思っていること)						
		⑤						
本人の長所・得意なこと		評価等		他機関との連携				
		⑥	⑦	医療	⑧			
				福祉				
				その他				
就学前施設における長期目標		有効たとえられる手立て及び就学前施設での様子						
		⑨	⑩					
この内容を了承し、進学先及び関係機関との相談で使用することに同意します。								
年 月 日								
保護者署名								
⑪								

① 支援(指導形態)

園内で行った指導形態について記入します。例:加配対応(3:1)

② 教育相談等

保健推進課の発達相談・通級指導教室の教育相談を行った場合記入します。

(○月○日 保健推進課) (○月○日 ○○小学校 通級指導教室)

③ 生育歴・入園までの様子

乳児期の様子や行動の特徴は、本児を理解する上で重要な情報となることがあります。

指導や支援に必要だと思われる事柄について、保護者から聞き取り、わかる範囲で記入します。

④ 入学当初予想される姿

入学当初(登下校、授業中、休み時間、給食、放課後、その他)に予想される姿を具体的に記入します。

⑤ 本人の思い(楽しみ・不安に思っていること)・保護者の思い(願い・不安に思っていること)

適切な指導、支援を考える際、保護者の意向を踏まえることは大切です。保護者が本児の将来(6年後)について、どんな願いをもっているのか十分に聞き取り、記入します。また、現在の本人の思いも聞き取って記入します。

⑥ 本人の長所・得意なこと

支援に活かせるという視点で、本人の長所、興味、関心のあることや得意なこと等を記入します。
支援内容の検討の際に参考となりそうな事柄を挙げます。

⑦ 診断等

医療機関で診断を受けている場合、診断名と診断時期及び医療機関名（医師名）を記入します。
検査実施日は記入可能ですが、検査結果（数値）は記入しません。

⑧ 他機関との連携

5歳児で継続して連携している医療機関や福祉機関で受けた療育や支援、相談があれば記入します。投薬の有無の記入可能。

⑨ 就学前施設における長期目標

5歳児での目標を記入します。

※ 幼児の実態に合わせて、豊かな生活を送るために必要なこと、困難を改善・克服するために必要なことという視点で検討して設定したもの。
※ 主語は幼児本人と考えて記述する。

⑩ 有効だと思われる手立て及び就学前施設での様子

行ってきた支援内容・方法とその支援に対する幼児の様子について記入します。

※ 実施した合理的配慮についても記入します。

合理的配慮とは

障害のある子どもが、他の子どもと同様に教育・保育を受ける権利を保障するために必要なサポートを指します。

保育所(園)・幼稚園・こども園における合理的配慮とは

障害のある子どもが障害のない子どもと平等に教育を受ける権利を享有・行使するために園・所が必要かつ適正な変更・調整を行うことです。

⑪ 保護者署名

記入内容と、就学先に引き継ぐことについて保護者に確認し、了承の署名をもらいます。

取扱注意 令和 年度

園(所)移行支援シート

年 月 日 作成者()

ふりがな	性別	学年	担任名	支援(指導形態)	教育相談等
氏名		0歳			
		1歳			
生年月日	年 月 日生	2歳			
		3歳			
生育歴・入園までの様子		4歳			
		5歳			
		入学当初予想される姿			
本人の思い(楽しみ・不安に思っていること)		保護者の思い(願い・不安に思っていること)			
本人の長所・得意なこと	診断等		他機関との連携		
			医療		
			福祉		
			その他		
就学前施設における長期目標		有効だと思われる手立て及び就学前施設での様子			

年 月 日

この内容を了承し、進学先及び関係機関との相談で使用することに同意します。

保護者署名

記入例

取扱注意 令和 年度

○○園(所)移行支援シート

年 月 日 作成者(□□□□)

ふりがな	性別	学年	担任名	支援(指導形態)	教育相談等
氏名 ○○○○	○	0歳 1歳			
生年月日 年 月 日生		2歳 3歳 4歳 5歳	○○○○ △△△△	加配対応(3:1) 加配対応(3:1)	
生育歴・入園までの様子				加配対応(3:1)	○月○日 入学前教育相談
・低出生体重児 2000g ・首のすわり4か月、歩き始め1歳0か月、言葉の言い始め1歳2か月 ・1歳8か月健診で視線の合いにくさから保健推進課の発達相談を継続して受け、療育を勧められた。 ・自分のしたいことができないと、癪癥を起こし、切り替えに時間を要することが多かった。					入学当初予想される姿 ・休み時間は、友達と関わることがなく一人で過ごすことが多い。 ・状況理解が難しく、自己中心的な関わり方になり、誤解されやすい。 ・授業の準備や片付けを時間内にやり切ることが難しい。
本人の思い(楽しみ・不安に思っていること)					保護者の思い(願い・不安に思っていること)
(楽しみ)・勉強すること (不安)・朝早く起きること					・友達と関わることを楽しめるようになってほしい。 ・集団生活の流れに沿って行動できるか心配。
本人の長所・得意なこと	診断等			他機関との連携	
・電車が好きで、車掌になりきって駅名を言ったり、様々な電車の名前を知っていたりする。 ・迷路のような線路や電車などの絵を描くことを好み、集中して取り組む。 ・当番活動が好きで、順番が来るのを楽しみにしたり、意欲的に取り組んだりする。	・自閉症スペクトラム (令和〇年〇月〇〇病院△△医師) ・宇治市発達・教育相にて検査実施 (令和〇年〇月〇日 〇〇小学校)	医療 福祉 その他	・〇〇病院にて定期的に診察・相談を受けている。 (担当医:〇〇医師 〇歳~) ・〇〇療育園通園(〇歳~卒園まで 週〇回)		
就学前施設における長期目標	有効だと思われる手立て及び就学前施設での様子				
・好きな遊びを通して、自ら友達と関わる。 ・決められた時間内に身の回りの始末を終える。	・自分で作った電車を走らせて一人で遊ぶことが多かったため、園庭に電車ごっここの場を設けるなどしてきっかけ作りをすることで、友達と同じ場で遊ぶ姿が見られた。遊びの中で順番を代われない場面もあったが、教師が友達の思いを知らせてることで、時には代わることもあった。 ・自分のしたいことがあると切り替えに時間がかかって身の回りの始末が出来ず、教師に頼ろうとする姿があつた。目標の時間を知らせ、視覚で分かるように示し、時間内に出来た時は好きな電車のシールを貼れるようにしたことで、自ら意欲をもって始末をしようとする姿が見られるようになってきた。				

年 月 日

この内容を了承し、進学先及び関係機関との相談で使用することに同意します。

保護者署名

受領書様式

令和 年 月 日

宇治市立 小学校
校長 様

園長

園

移行支援シートについて

標記の件について、名分 本日お渡しさせていただきました。
下記の通りですので、ご確認ください。

きりとり

移行支援シート 名分（氏名）

確かに受け取りました。

令和 年 月 日
宇治市立 小学校

校長名

受領者